

第82期 中間報告書

2014.4.1 ▶ 2014.9.30

THE WAY OF MUTUAL PROGRESS

 ユシロ化学工業株式会社

証券コード：5013

時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

THE WAY OF MUTUAL PROGRESS

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は半世紀の時空を越えて全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

企業理念

「共々の道」

社 是

「独自の風格ある製品」

「間口よりも奥行きのある研究」

「進歩は常に需要とともに」

第2四半期財務ハイライト(平成26年9月中間期)

| | | 連結決算 |
|-------------|-------|--------|
| 売上高 | (百万円) | 14,421 |
| 営業利益 | (百万円) | 803 |
| 経常利益 | (百万円) | 1,302 |
| 四半期純利益 | (百万円) | 950 |
| 1株当たり四半期純利益 | (円) | 68.61 |
| 純資産 | (百万円) | 26,574 |
| 総資産 | (百万円) | 36,023 |
| 自己資本比率 | (%) | 69.6 |

(注)本報告書中の財務諸表等の記載の金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第82期第2四半期（中間期）の事業の概況についてご報告申し上げます。



代表取締役社長

大 須 栄 一

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、アメリカを中心に緩やかな回復基調を維持しております。しかしながら減速感が強まっている中国経済の影響を受けアジア経済は、安定した成長過程にあるもののその成長のペースは非常に緩やかな状態にあります。一方、欧州経済につきましては足踏み状態が続いております。また日本経済につきましても、消費税増税後の落ち込みから持ち直しつつあるものの個人消費の回復が鈍い状態にあります。

この様な状況下、売上高は北米市場を中心に販売が好調な当社の主要顧客である日系自動車メーカーに牽引され、前年同期比12.5%増の14,421百万円となりました。利益面においては、海外子会社での増収及び円安の効果もあり営業利益は前年同期比56.6%増の803百万円となりました。経常利益は前年同期比39.1%増の1,302百万円、四半期純利益は前年同期比47.3%増の950百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は、外国為替相場等において輸出に有利な環境が定着しつつあるにもかかわらず貿易赤字が続いており、国内産業の海外生産移転の流れは止まることなく継続していることが顕著

であります。当社の主要顧客である自動車関連業界においても、国内生産での需要増加は生産年齢人口の減少傾向等も相俟って多くを望めない環境にあります。また、当社製品の主要な部分を構成する原油関連原材料や天然油脂等の価格も世界的な需要増加や中東情勢等の影響により高騰傾向が継続しております。

この様な状況下、当社は今後需要増加が見込める地域へ経営資源を投入するとともに、従来にない原価低減に努めてまいります。

当期では将来の大きな発展が見込まれるインド及び日系自動車関連業界の進出が著しいメキシコで現地生産を開始し収益の拡大に努めてまいります。

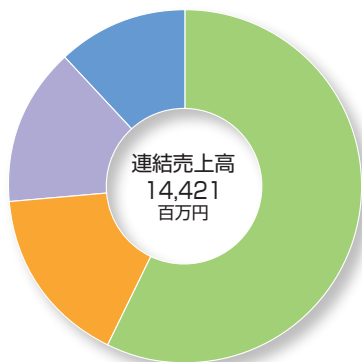
また、当期より稼働する新基幹システムを利用した品種統合やグローバル拠点間での最適地における集中生産、資材調達の統合により原材料価格高騰に対応してまいります。

当社は今までに培ってきたブランド力・海外展開力を活かし長期的な利益創出をめざしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

セグメント情報 (平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)



日本 57.3%

南北アメリカ 16.4%

中国 14.6%

東南アジア/インド 11.7%

●日本

金属加工油剤事業では、消費税増税後の回復が多少遅れているものの売上高は前年同期を上回りました。ビルメンテナンス製品事業は増税前の買い込みの影響により前年同期を下回りました。

その結果、売上高は前年同期比4.8%増の8,269百万

円、セグメント利益（営業利益）は円安による原材料価格高値の影響を増収効果で吸収したことにより前年同期比58.0%増の297百万円となりました。

●南北アメリカ

北米地区（米国・メキシコ）では、米国の個人消費の拡大により日系自動車メーカーの生産が伸びており、売上高は前年同期を上回りました。一方ブラジルでは、景気後退により自動車の生産台数が減少しており、売上高は前年同期を下回りました。

その結果、売上高は為替の影響もあり前年同期比18.2%増の2,361百万円となりました。セグメント利益は増収の効果により前年同期比7.1%増の138百万円となりました。

●中国

中国では、欧米車との競争激化により日系自動車メーカーのシェアは伸び悩んでおりますが、2013年以降自動車生産台数は回復傾向にあります。このような状況下、新規顧客獲得により順調に売上を伸ばしております。

その結果、売上高は前年同期比28.3%増の2,108百

万円となりました。セグメント利益は増収の効果により前年同期比105.4%増の290百万円となりました。

●東南アジア/インド

タイでは自動車購入支援策終了の影響により自動車の生産台数は減少しているものの、新規顧客の獲得もあり売上高は前年同期を上回りました。マレーシアでは国内販売の大きな伸びはなかったものの、太陽電池用切断油剤の販売及び輸出増により前年同期を上回りました。インドネシアでは引き続き、日系自動車メーカーの生産増による既存顧客への販売増と新規顧客獲得で前年同期を

上回りました。またインドにおいては既存顧客のシェアアップもあり売上高は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は前年同期比30.8%増の1,681百万円となりました。インドでは4月の生産開始に伴う経費増により赤字状態が続いておりますが、セグメント利益は増収効果等により前年同期比54.1%増の74百万円となりました。

売上高

| | | 当第2四半期 | | 前第2四半期 | | 増減率(%) |
|------------------|-------------|---------|--------|---------|--------|--------|
| | | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) | 構成比(%) | |
| 日本 | 外部顧客に対する売上高 | 8,269 | 57.3 | 7,890 | 61.6 | 4.8 |
| | 地域間の内部売上高 | 401 | — | 274 | — | — |
| | 計 | 8,671 | — | 8,165 | — | — |
| 南北アメリカ | 外部顧客に対する売上高 | 2,361 | 16.4 | 1,997 | 15.6 | 18.2 |
| | 地域間の内部売上高 | 3 | — | 21 | — | — |
| | 計 | 2,365 | — | 2,018 | — | — |
| 中国 | 外部顧客に対する売上高 | 2,108 | 14.6 | 1,643 | 12.8 | 28.3 |
| | 地域間の内部売上高 | — | — | — | — | — |
| | 計 | 2,108 | — | 1,643 | — | — |
| 東南アジア/インド | 外部顧客に対する売上高 | 1,681 | 11.7 | 1,286 | 10.0 | 30.8 |
| | 地域間の内部売上高 | 9 | — | 0 | — | — |
| | 計 | 1,691 | — | 1,286 | — | — |
| 消去（地域間の内部売上高の合計） | | △415 | — | △296 | — | — |
| 連結 | | 14,421 | 100.0 | 12,816 | 100.0 | 12.5 |

セグメント利益（営業利益）

| | | 当第2四半期 | | 前第2四半期 | | 増減率(%) |
|-----------------|---|---------|--------|---------|--------|--------|
| | | 金額(百万円) | 構成比(%) | 金額(百万円) | 構成比(%) | |
| 日本 | 計 | 297 | 37.1 | 188 | 36.8 | 58.0 |
| 南北アメリカ | 計 | 138 | 17.2 | 128 | 27.6 | 7.1 |
| 中国 | 計 | 290 | 36.1 | 141 | 25.1 | 105.4 |
| 東南アジア/インド | 計 | 74 | 9.3 | 48 | 9.4 | 54.1 |
| 消去（地域間の内部利益の合計） | | 2 | 0.3 | 5 | 1.1 | — |
| 連結 | | 803 | 100.0 | 512 | 100.0 | 56.6 |

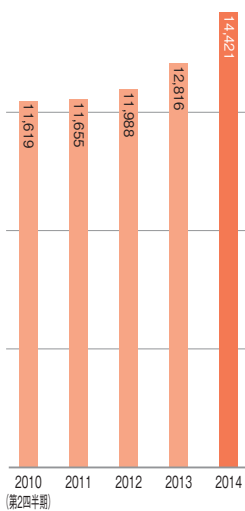
※各地域セグメントに属する国

- 日本 : 日本
- 南北アメリカ : アメリカ、ブラジル、メキシコ
- 中国 : 中国
- 東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

連結業績推移

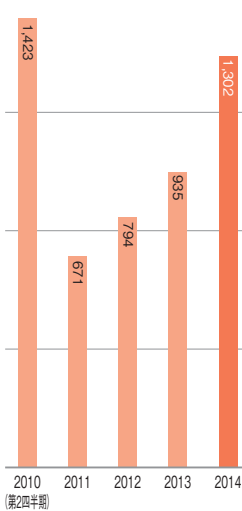
売上高

(単位：百万円)



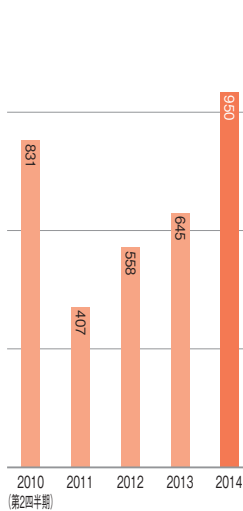
経常利益

(単位：百万円)



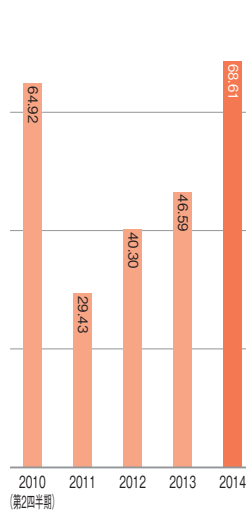
四半期純利益

(単位：百万円)



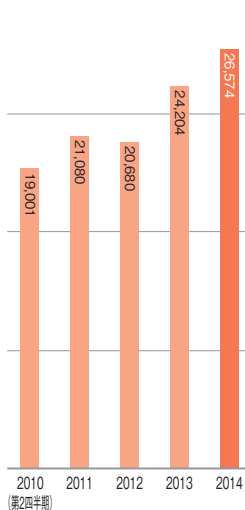
1株当たり四半期純利益

(単位：円)



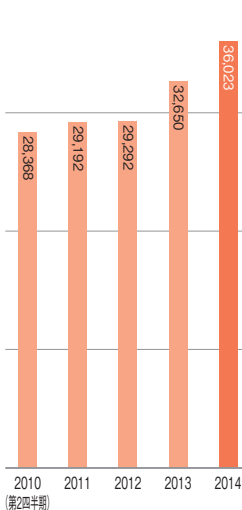
純資産

(単位：百万円)



総資産

(単位：百万円)



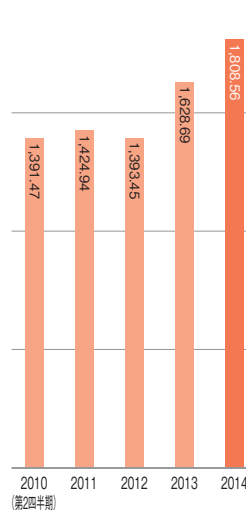
自己資本比率

(単位：%)



1株当たり純資産

(単位：円)



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目 | 当第2四半期末 平成26年9月30日現在 | 前期末 平成26年3月31日現在 |
|---------------|-------------------------|---------------------|
| ●資産の部 | | |
| 流動資産 | 14,869 | 15,026 |
| 固定資産 | 21,153 | 19,829 |
| 有形固定資産 | 10,210 | 10,033 |
| 無形固定資産 | 803 | 859 |
| 投資その他の資産 | 10,138 | 8,936 |
| 資産合計 | 36,023 | 34,856 |
| ●負債の部 | | |
| 流動負債 | 7,681 | 7,308 |
| 固定負債 | 1,766 | 1,943 |
| 負債合計 | 9,448 | 9,251 |
| ●純資産の部 | | |
| 株主資本 | 25,755 | 25,036 |
| 資本金 | 4,249 | 4,249 |
| 資本剰余金 | 4,058 | 4,058 |
| 利益剰余金 | 18,902 | 18,183 |
| 自己株式 | △1,454 | △1,454 |
| その他の包括利益累計額 | △700 | △889 |
| その他有価証券評価差額金 | 1,383 | 875 |
| 為替換算調整勘定 | △1,966 | △1,635 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △117 | △129 |
| 少数株主持分 | 1,519 | 1,457 |
| 純資産合計 | 26,574 | 25,604 |
| 負債及び純資産合計 | 36,023 | 34,856 |

資産の部

資産は、36,023百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,167百万円増加しました。主な要因は、「現金及び預金」が408百万円減少したものの、「投資有価証券」が898百万円、「長期預金」が279百万円、「受取手形及び売掛金」が224百万円、「有形固定資産」が177百万円増加したことによります。

負債の部

負債は、9,448百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円増加しました。主な要因は、「退職給付に係る負債」が175百万円、「役員退職慰労引当金」が172百万円減少したものの、「短期借入金」が350百万円、固定の「繰延税金負債」が240百万円増加したことによります。

純資産の部

純資産は、26,574百万円となり、前連結会計年度末に比べ970百万円増加しました。主な要因は、「その他有価証券評価差額金」が507百万円増加したこと、「為替換算調整勘定」が331百万円変動したことによります。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 当第2四半期 | 前第2四半期 |
|-----------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで | 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで |
| 売上高 | 14,421 | 12,816 ● |
| 売上原価 | 10,371 | 9,341 |
| 売上総利益 | 4,050 | 3,475 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,246 | 2,962 |
| 営業利益 | 803 | 512 ● |
| 営業外収益 | 533 | 479 |
| 受取利息及び受取配当金 | 98 | 75 |
| 持分法による投資利益 | 349 | 311 |
| その他 | 85 | 92 |
| 営業外費用 | 34 | 56 |
| 支払利息 | 16 | 15 |
| その他 | 18 | 41 |
| 経常利益 | 1,302 | 935 ● |
| 特別利益 | 64 | 5 |
| 特別損失 | 1 | 11 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,365 | 929 |
| 法人税等 | 267 | 200 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,097 | 729 |
| 少数株主利益 | 146 | 83 |
| 四半期純利益 | 950 | 645 ● |

売上高

売上高は、北米市場を中心に販売が好調な日系自動車メーカーに牽引され、前年同期比12.5%増の14,421百万円となりました。

営業利益

営業利益は、海外子会社での増収及び円安の効果もあり、前年同期比56.6%増の803百万円となりました。

経常利益

経常利益は、受取利息及び受取配当金、持分法投資利益の増加もあり前年同期比39.1%増の1,302百万円となりました。

四半期純利益

四半期純利益は、前年同期比47.3%増の950百万円となりました。

※第1四半期連結会計期間より経営成績をより適正に表示するべく、一部の売上原価と販売費及び一般管理費について計上区分を変更いたしました。

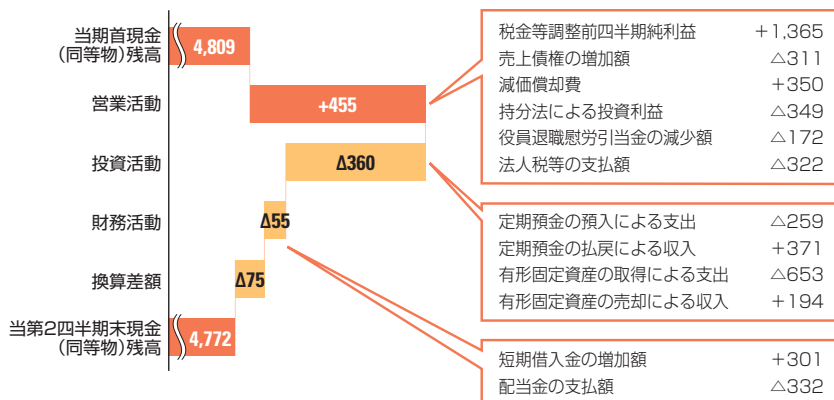
当第2四半期連結累計期間の比較は、変更後の数値を記載しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 当第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで | 前第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで |
|------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 455 | 1,084 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △360 | △1,099 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △55 | △463 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △75 | 261 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △36 | △217 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,809 | 5,841 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,772 | 5,623 |

四半期連結キャッシュ・フロー（主な要因事項） (単位：百万円)



株式情報 (平成26年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 29,180,000株

発行済株式数 15,200,065株

株主数 5,146名
(前期末比299名減)

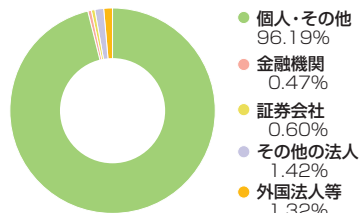
大株主

| 株主名 | 持株数(百株) | 持株比率(%) |
|--------------------------|---------|---------|
| 日本生命保険相互会社 | 10,046 | 7.25 |
| ユシロ化学工業取引先持株会 | 7,513 | 5.42 |
| 株式会社三井住友銀行 | 6,226 | 4.49 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託) | 6,205 | 4.48 |
| スズキ株式会社 | 5,490 | 3.96 |
| ユシロ化学工業従業員持株会 | 3,560 | 2.57 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託) | 3,436 | 2.48 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 3,161 | 2.28 |
| 三井住友海上火災保険株式会社 | 2,860 | 2.06 |
| 長瀬産業株式会社 | 2,437 | 1.75 |

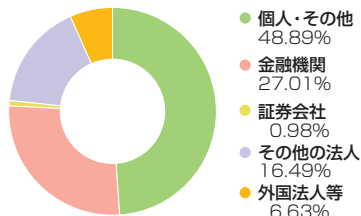
※当社は、自己株式13,463百株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。持株比率は、自己株式(13,463百株)を除いて算出しております。

株式の分布状況

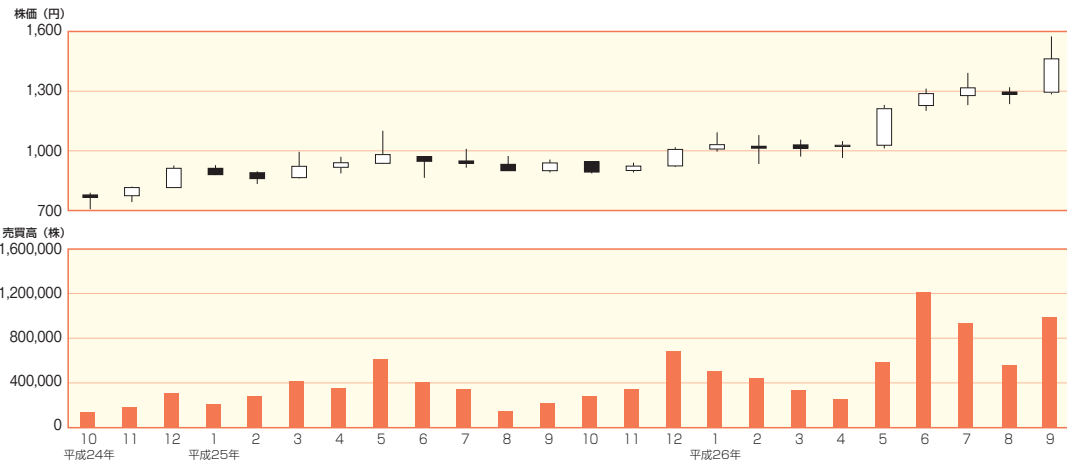
株主数比率



株式数比率



株価チャート



会社情報 (平成26年9月30日現在)

■ 会社概要

| | |
|------------------|--|
| 社名 | ユシロ化学工業株式会社 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD. |
| 本社所在地 | 〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL(03) 3750-6761 FAX(03) 3750-1146 |
| ホームページ | http://www.yushiro.co.jp/ |
| 設立 | 1944年(昭和19年)7月24日 |
| 資本金 | 4,249百万円 |
| 従業員数 | 324名(連結792名) |
| 当社グループの 主な製品等 | 金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、表面処理剤、 アルミ離型剤、太陽電池用切断油剤、その他関連製品 ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、フロアメンテナンス用機器 類、その他関連製品 |

■ 連結子会社

| |
|-------------------------------|
| ユシロ運送株式会社 |
| ユシロ・ゼネラルサービス株式会社 |
| ユシロマニュファクチャリングアメリカ株式会社[米国] |
| ユシロドブラジルレインダストリアケミカ有限公司[ブラジル] |
| ユシロメキシコ S.A. de C.V. [メキシコ] |
| 上海尤希路化学工業有限公司[中国] |
| 啓東尤希路化学工業有限公司[中国] |
| 広州尤希路油剤有限公司[中国] |
| ユシロマレーシア Sdn.Bhd. [マレーシア] |
| ユシロ(タイランド)株式会社[タイ] |
| ユシロ(インド)株式会社[インド] |
| PT. ユシロインドネシア [インドネシア] |

■ 持分法適用関連会社

| |
|----------------|
| 汎宇化学工業株式会社[韓国] |
| 株式会社汎宇[韓国] |
| 三宜油化股份有限公司[台湾] |

■ 役員

| | |
|---------------------|-------|
| 代表取締役社長 | 大胡 栄一 |
| 常務取締役 | 岸 裕次 |
| 常務取締役 | 百束 立春 |
| 取締役 | 瀧元 伸二 |
| 取締役 | 有坂 昌規 |
| 取締役* ¹ | 片山 久郎 |
| 常勤監査役* ² | 佐々木 智 |
| 常勤監査役 | 阪口 善裕 |
| 監査役* ² | 野末 昭孝 |

(注) ※1は社外取締役です。

※2は社外監査役です。

■ 事業所

| | |
|--------------|---------------------------------|
| 神奈川テクニカルセンター | 神奈川県高座郡寒川町田端 1580 |
| 名古屋テクニカルセンター | 愛知県名古屋市緑区鳴海町杜若 100 |
| 富士工場 | 静岡県駿東郡小山町湯船字湯船原 1157-2 |
| 兵庫工場 | 兵庫県神崎郡福崎町西治字拝尾 817-1 |
| 東京支店 | 東京都大田区千鳥 2-34-16 |
| 名古屋支店 | 愛知県名古屋市緑区鳴海町杜若 100 |
| 大阪支店 | 大阪府枚方市池之宮 3-5-1 |
| 北海道営業所 | 北海道苫小牧市表町 5-4-7 苫小牧海晃第一ビルディング3階 |
| 東北営業所 | 宮城県仙台市宮城野区宮城野 1-26-20 |
| 北関東営業所 | 栃木県小山市大字横倉新田 470-5 |
| 北陸営業所 | 石川県金沢市森戸 1-158 |
| 浜松営業所 | 静岡県浜松市中区高丘西 1-3-24 |
| 福山営業所 | 広島県福山市大門町野々浜向山 270-1 |
| 広島営業所 | 広島県広島市南区段原 2-14-11 田中ビル |
| 九州営業所 | 福岡県福岡市博多区東比恵 3-11-2 |

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

定時株主総会の基準日 3月31日

期末配当の基準日 3月31日

中間配当の基準日 9月30日

証券コード 5013

単元株式数 100株

株主名簿管理人及び

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号

電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法

電子公告とし、当社ホームページ (<http://www.yushiro.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

